

多数の予防接種同時接種でリスクが上昇することはありません

(欧米では20年以上の歴史、複数同時予防接種で原因不明の死亡率増加がないことは証明されています、日本でも調査が継続いままでも問題はありせん)

マスコミ・マスコミに誘導された親御さんが誤認する原因:

1歳未満乳児は、1年150名程度乳児突然死で原因不明の死

(喫煙者の両親で5倍・うつぶせ寝で2倍リスクが高い、冬期風邪流行期に多い)

1歳未満の赤ちゃんが1年間5回ワクチンをうけるとすると、概ね、

予防接種後1週以内に乳児突然死で年間15名亡くなる(これを報道しているだけ?)

→ マスコミ新聞報道に両親の喫煙有無が書かれているものがありましたか?

杜撰・不適切な報道は医療では重篤な医療過誤に相当すると考えます

原因不明の乳児死亡を全て報道するかその数字を同時に掲載すべきです

ワクチンの有害事象と副作用が混同されている

問題点:

ワクチン後に症状がでれば全て有害事象(予防接種後の交通事故も該当する)

再度の結論:

ワクチン同時接種は1970年代から欧米で行われている

同時接種群と同時接種行わない群で死亡率は同時接種群が低い同時接種で迅速にワクチンをうち受診回数を減らしましょう

日本でも同時接種により予防接種の接種率が上がり、麻疹はほぼ見られなくなり、細菌性中耳炎も大幅に減少、2013年3月現在、病院の入院患者数減少の効果が見られています